

熊本市立必由館高校 これまでの成果 Co-Agency

全日制普通科・普通(6学級×40名=240名)・国際コース(1学級=40名)・芸術コース(1学級=40名書道・美術・音楽)・服飾デザインコース(1学級=40名)。在籍生徒数 1080名。

明治44年(1911年)開校、平成13年(2001年)に校名変更学科改編。令和6年度から新学科へR8 9 15名

目指すべき学校像(スクール・ミッション)

熊本市立必由館高等学校は、熊本市の未来を拓き、健康で心豊かな人生と幸せな社会を生み出す、次のような資質・能力を有したリーダーを育成します。

- ・多様な価値観を尊重し、新たな価値を創造する力
- ・地域社会や国際社会に関する理解を深め、課題や魅力を見出す力
- ・分野横断的に課題を分析し、論理立てて表現する力
- ・自己の興味・関心に応じて、生涯にわたって学び続ける力

この目的のため、「市立ならではの」次のような取組を行います。

- ・多様な生徒一人ひとりが主体的かつ協働的に学校づくりに参画する機会の拡充
- ・市役所、市立専門学校、大学、企業等と連携・協働した課題探究型学習の推進
- ・文理融合等の教科等横断的な学習の推進
- ・芸術・生活デザインに関する専門的教育の推進

○Co-Agency →生徒 教師 保護者 地域社会 教育委員会も変容

→注文・支援から参画へ

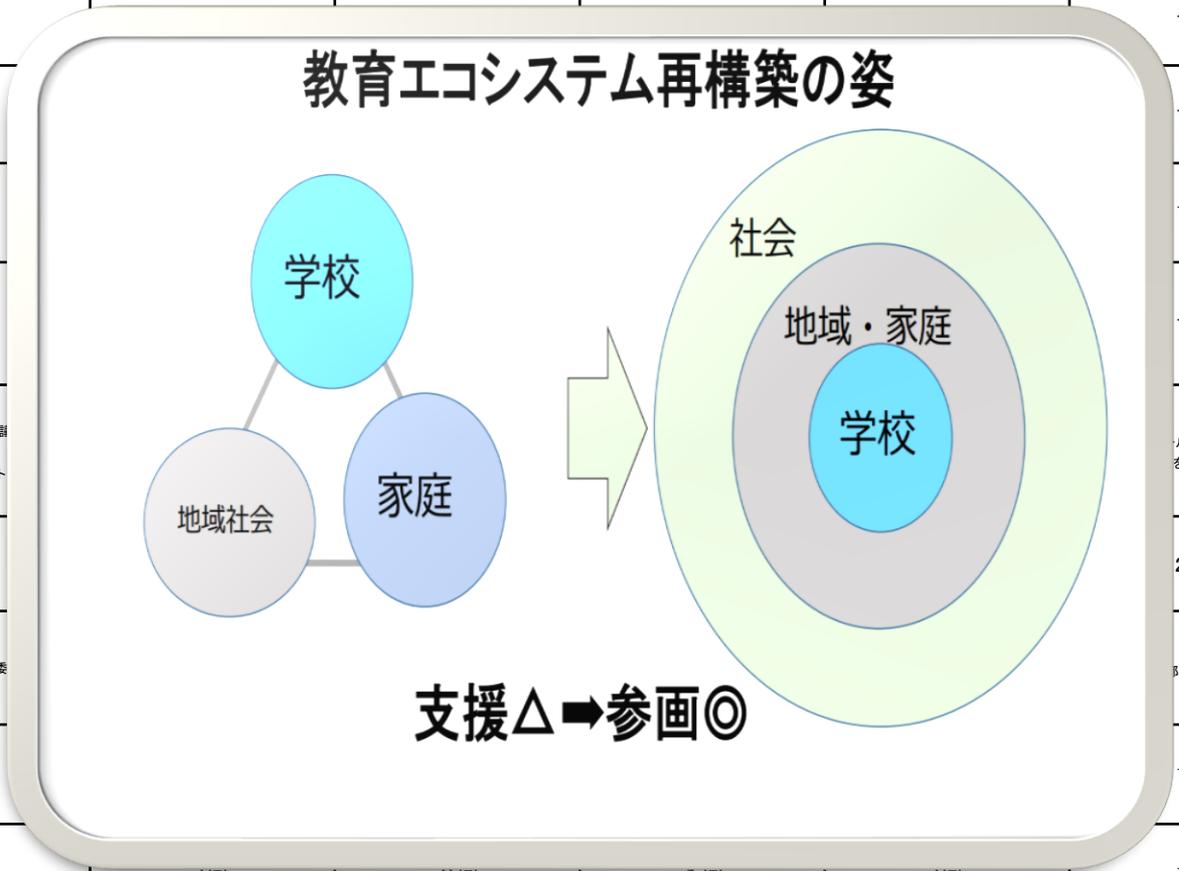
○カリ・マネ 目的・目標の共有ができた コンピテンシー⇔コンテンツ

○在校生が学校が変わっていくことを実感

ビジョン 改革のプロセス 成果

「はっきり」と共有
「しっかり」とかつ柔軟に
「くっきり」と良いも悪いも

事業項目	実施日程					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教育課程編成						1回
コーディネーター研修						1回
運営指導委員会						1回
コンソーシアム会議						1回
探究的学習の充実に向けた取組						・国際サステイナブル会議 ・GoGreenプロジェクト ・ネットワーク「探究の を採す」
「市立高等学校・専門学校改革検討会議」	1回					2回
他都市先進校視察訪問						北九州市教委 開建高校
外部講師招聘 (運営指導委員・コンソーシアム構成員・職員対象)						1回
外部講師招聘 (生徒対象)		1回	2回	1回	1回	1回
資質・能力の変容の調査・検証			AIGROWの実施	現状の検証	分析	



熊本市立必由館高等学校 新学科カリキュラムマネジメントロジック案 R5～R6年度



【熊本市立必由館高等学校】地域社会学科（令和6年度設置予定）

教育理念：自ら考え、主体的に行動し、多様な人々と協働しながら、自らの人生とよりよい社会を創造する力を育てる学校を目指す

革新的な教育活動の実践

《育成する資質・能力》

- I 多様な価値観を尊重し、新たな価値を創造する力
- II 社会に関する理解を深め、地域の課題や魅力を見出す力
- III 分野横断的に課題を分析し、論理立てて表現する力
- IV 自己の興味・関心に応じて、生涯にわたって学び続ける力

《特色・魅力ある先進的な教育の取組》

①少人数によるクラス編制、生徒が主体的・協働的に学ぶ仕組み

多様な生徒へのきめ細かな指導、支援を実現1クラス30人または35人の少人数によるクラスを編制(令和6年度入学生から)。生徒が主体的・協働的に学ぶことのできる授業づくり

②「学校設定科目 必由学」の新設

持続可能な社会の創り手としての資質・能力を育み、「Well-being」としての社会情緒的能力などを醸成

③熊本市役所等、地域社会の資源を活用した課題解決型学習の充実

市役所の全面的な協力体制のもと、市立ならではの教科等横断的・探究的学習

④探究活動等で収集したデータを科学的に分析・検証し活用する力の育成

ICTを活用することにより、課題解決に向けデータを科学的に分析・検証し、表現する力を育成

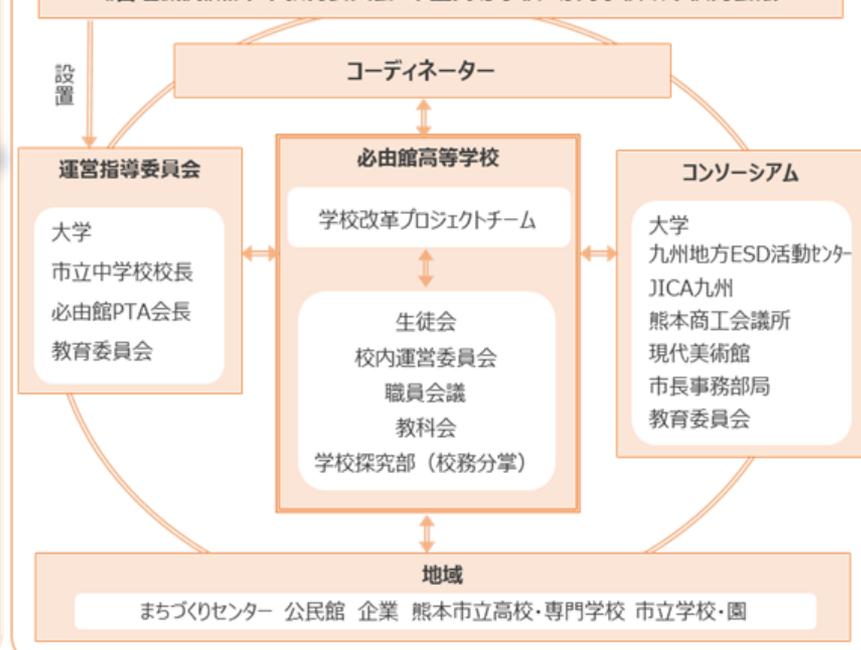
⑤生徒・教師が主体的に学校づくりに参画する Agency School

生徒が授業づくりや校則の策定・見直しなど、生徒が学校創生に参画教育実践及び教育的効果を積極的に国内外に還元するとともに、自らの学びは自らが創る Agency School



熊本市教育エコシステム

《管理機関》熊本市教育委員会 市立高等学校・専門学校改革検討会議



令和4年度の目標

職員研修・生徒研修の充実

学校設定教科設置に向けた探究的学習の充実

外部機関との連携体制の構築

教育課程の開発研究

先進校等に学ぶ

生徒の資質・能力の測定

令和4年度の取組と課題

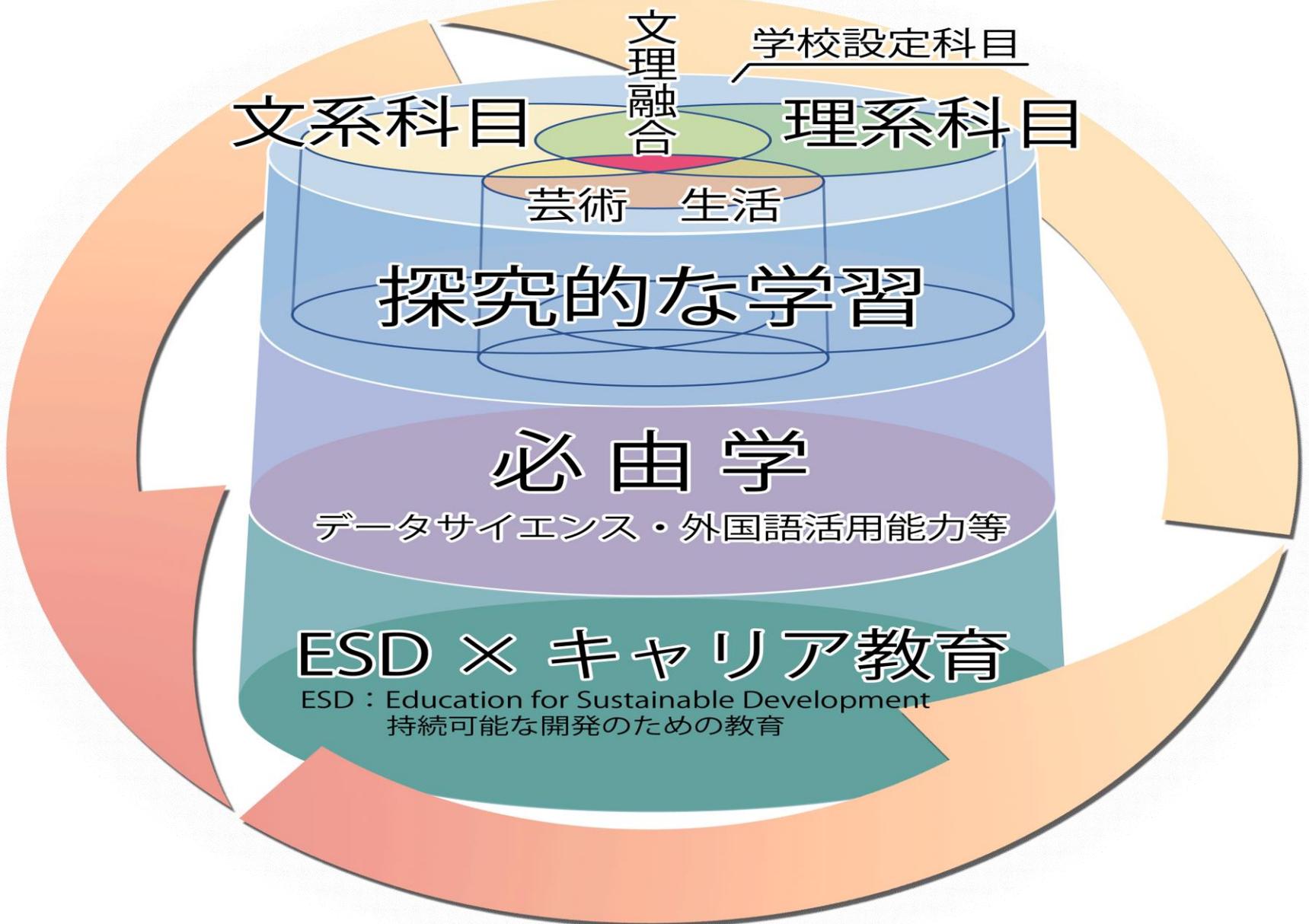
県内外から有識者を招き職員および生徒に向け講義、実践実習を実施した。またKumamoto Education Weekでの発表、観光庁 未来の観光人材育成事業 成果報告会に参加し研究の外部への積極的な発信を行った。さらに、市役所との連携し高校生が社会の一員として地域（熊本市）の課題を自分事として捉え、自己のキャリア形成と関連付けながら、解決していくための資質能力を育むための活動に取り組んだ。日常生活の様々なところに課題があることを知り、今後の探究学習に役立てていく。

運営指導委員会とコンソーシアムを2回開催。これからの10年を見据えた魅力ある学校（自らの学びは自ら作るAgency School）を目指し、必由館高等学校の現状、課題を踏まえ課題解決に向けた取組を協議した。校内プロジェクトチームで協議を行っており、教育課程を具現化に向けて引き続き検討を進めていく。

先進的な取組も数多く取り入れている高等学校や教育委員会への視察訪問を通し各機関の様々な取組やその取組の中にある課題を学んだ。今後、必由館高等学校の探究活動や地域連携のあり方また学科改編に向けた取組について参考としていく。

「AI Grow」による調査は12月から1月にかけて1回のみ実施となり、生徒のコンピテンシーについて現状を把握するに留まった。来年度は年度当初と年度末に少なくとも2回は調査を実施し、2点観測によるデータの比較から生徒個人及び学校全体としてのコンピテンシーの変容を分析と、その伸長につなげる。

すべてを総合的に学習する



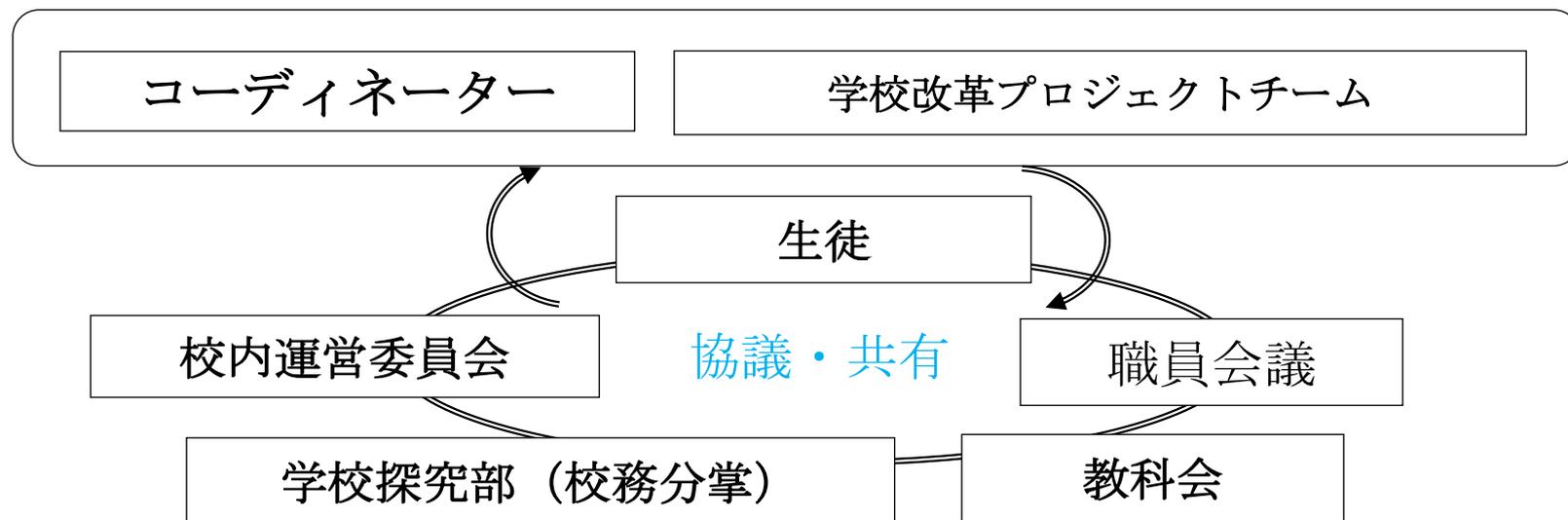
熊本市必由館高校 教育エコシステムで目的・目標の共有

学校内に、学科改編の事業実施主体となる学校改革PJチームを設置。

→本年度、校内に高校改革室設置につながる。→R6年さらに進化させる

OCNと学校改革プロジェクトチームにおいて事業計画案を作成し、校内運営委員会、職員会議、学校探究部等で協議及び目的・目標など共有。月に数回ペースで学校改革PJチームを開催。

事業計画の作成にあたり、教育エコシステムの参画・連携を得ながら、事業の目的に沿った実効性のあるものとなるよう、改善を図った。



熊本市必由館高校 Student Agency

○熊本市教育員会主催の教育イベント「Kumamoto Education Week」本校生徒による高校改革に関するプレゼンテーションやCN等によるパネルディスカッションを全国に向けて発信。

『タイトル「どぎゃん！高校改革～高等学校の今と未来～」』

- ・コメンテーター 熊本大学大学院教育学研究科 特任教授 前田 康弘 氏
横浜創英中学・高等学校校長補佐/新渡戸文化学園ラーニングディレクター
山本 崇雄 氏

→「生徒主体の学校運営プロジェクト」につながる

「熊本市高校魅力化生徒会」を立ち上げ、県立・私立も巻き込み、活動を開始。

8月29日、30日 他都市高校改革の学校を生徒自ら視察。

- ・北九州市立高校 広島市立美鈴が丘高校 京都市立開建高校

○「くまもと幸福論」中高生パフォーマンス Well-being 2023』
・TED×Kumamotoから、2ヶ月間のプレゼンテーション指導を受け、それぞれの思い込めたプレゼンテーションを行った。

→ 本年度8月19日実施につながる。

熊本市にて開催 主な参加校など

北九州市立高校 宮崎県立飯野高校 静岡県浜松学芸高校 熊本県宇土高校
東京学芸大学 ドワンゴ学園高 福井大学(OECD関係)

熊本市必由館高校 Student Agency

- 『GO GREEN プロジェクトin 熊本』
～創造的復興に向けたレスポンシブルツーリズム～へ参加
 - ・熊本市の高校生が考える観光復興についてパネルディスカッションを行った。
 - ・「Responsible Tourism in Hitoyoshi&Kuma」
～球磨川の恵みとリスクコントロール令和時代の観光を発見する旅～
- 『第7回サステイナブル ブランド国際会議へ参加』 福岡 東京
 - ・他県高校生の探究の発表を聴講
 - ・企業人との交流
 - ・第3回 SB Student Ambassador 全国大会への参加
- 未来の学校「apple」「内田洋行」本社視察及び意見交換 東京

『観光庁 未来の観光人材育成事業 成果報告会での発表』

- ・「高校生と取り組む被災地の創造的復興
～熊本版レスポンシブルツーリズムの幕開け～球磨人吉の観光・復興」の
成果報告発表を行った。

『熊本市内フィールドワーク』

- ・「私たちの『熊本市』を知り、探究のタネを探す旅」
「文化財」「環境」「観光」「福祉」などの単独の分野だけの課題や取組では
なく、それぞれが関りあっているということに気付くことのできる大変充実した
機会となった。

→ R5 熊本市役所との「総合的な探究の時間」 授業連携につながる

※R5 市役所27課及び企業など参画

必由館の探究スタイル

たくさんの出あい、
価値観にふれながら、
これまでは気づかなかった
自分との出会いを

どんな力を身につけるの？

課題発見力

表現・発信力

協働的課題解決能力 等

自分を知り、地域を見つめ、社会にはばたく
—主体的・協働的に学び、自己実現を目指す—

総合的な探究の時間では、観光・福祉・経済・文化財・環境など、社会課題の解決に日々取り組んでいる熊本市役所職員や関連企業と、直接関わりあうなかで問いを立て、探究活動を行います。
話し合いやフィールドワークで、地域を見つめ、将来の夢を抱き、キャリア形成に繋がる様々な学びを得ることができます。
必由学では、従来の授業だけでは対応できなかった新しい時代に求められる力、夢を実現するための力を高めます。
新しい普通科ならでの学びでは、授業・総探・必由学が相互に作用しあうことで、あなたの夢、未来をより良く創りあげる力を高められます。



社会の一員として地域の良さや課題を自分事にして、課題を発見し解決する資質、能力を育みます。

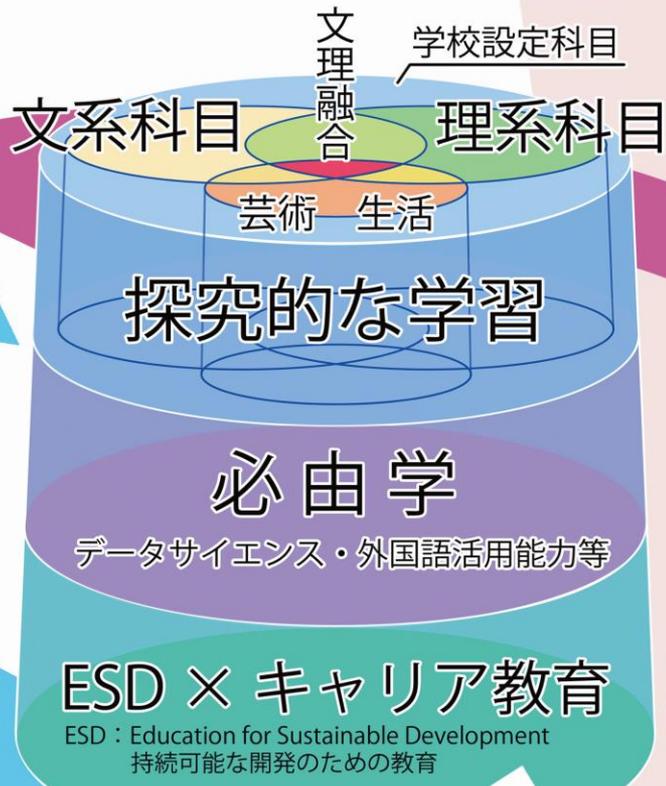
熊本市立なら
熊本市役所と



ではの強みの連携授業

- 令和5年度
連携授業協力 熊本市役所各課等
- 環境 - 環境政策課、廃棄物計画課、水保全課、脱炭素戦略課
 - 経済 - 商業金融課、雇用対策課
 - 観光 - 観光政策課
 - まちづくり - 空家対策課、都市デザイン課
 - 歴史文化 - 熊本城総合事務所、文化財課
 - スポーツ - スポーツ振興課
 - 情報 - デジタル戦略課
 - 教育 - 熊本市教育センター、地域教育推進課
 - 医療福祉 - こども政策課、高齢福祉課
 - 国際多文化共生 - 国際課、JICA
- [以下の取組にも参加]
- ツールド九州
 - ビジネスグランプリ
 - サステナブルブランド国際会議

あたらしい必由館では
すべてを総合的に学習します



令和6年度より開講 学校設定教科 必由学

学は必ず是に由って学ばば
即ち其の差はざるに庶からん

本校敷地に在した米田家家塾「必由堂」命名の由来。儒教四書「大学」の教えより引用された。
訳：先人たちの確かな学びを参考にして学べば、間違いを犯すことなく、より良い道を選ぶ事ができる。

1・2年 - 必由学基礎 1時間/週
リーダーシップ
外国語活用能力
データサイエンス等

3年 - 必由学応用 3年理文探究・文理探究は開講なし

文理コース / 文理総合 スポーツクリエイション プレゼンテーション グローバル・イングリッシュ リベラル・アーツ 6時間/週	文理コース / 理文総合 スポーツクリエイション リベラル・アーツ 2時間/週 芸術・生活デザインコース グローバル・イングリッシュ 2時間/週
---	---

グローバル - 近年、ビジネス、地域開発分野で重要視されている、global【地球規模の・世界的な】と、local【地域特有の、身近な】を組み合わせた言葉、視点。近年重要視されている「グローバル人材」とは世界的・多文化理解の視点を持つことで、地域の特徴や強みに気づくことができ、活躍・貢献できる人材のことを差す。
リベラル・アーツ - 自ら設定したテーマ・課題に、身に付けた資質能力を活かしながら探究活動を行うことで、時代を深く考察する力を高める。

新しい普通科高校だから 授業で培う教養力

授業は、気づき、考える力を得る時間
課題を自分事にできているから、もっと学びたいが加速する。
普通科高校のカリキュラムは、あなたの可能性を広げ、夢実現の力になります。



YouTube
必由館の
総探スタイル



YouTube
学校説明会
全体説明(教務)